

# 議会だより

令和7年11月号

# もろっか

令和7年  
第187号

編集 議会広報編集特別委員会  
発行 諸塚村議会



## もくじ

令和7年第3回 諸塚村議会定例会	2
第3回定例議会	3
総括質疑	5
総括意見・個別意見	7
一般質問	8
所管事務調査報告	11
議会議決報告	13
随想	13
九州中央自動車道 建設促進地方大会	14
国道503号整備促進 総決起大会	14
編集後記	14

■第66回宮崎県畜産共進会 都城家畜市場

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

# 令和7年 第3回諸塚村議会定例会





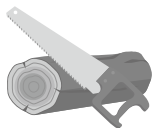



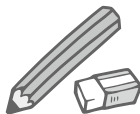



(会期:令和7年9月10日～22日13日間)

## 令和6年度一般会計決算が認定された

(歳入額) 52億8,325万円

(歳出額) 43億3,739万円

※端数切捨てのため、合計金額は合いません。

議会費	総務費	民生費	衛生費
			
4,748万円	6億275万円	4億7,588万円	2億6,207万円
農林水産費	商工費	土木費	消防費
			
4億8,466万円	8,425万円	2億6,608万円	3,287万円
教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金
			
2億6,010万円	14億6,254万円	3億5,524万円	340万3千円

### ■特別会計

会計名	歳出決算額	会計名	歳出決算額
国民健康保険	3億2,324万円	後期高齢者医療	3,981万円
介護保険事業	2億8,104万円	簡易水道事業	5,259万円
公共下水道事業	1億9,135万円	診療所事業	3億5,625万円
発電事業	882万円	特別会計合計	12億5,310万円

### 令和6年度事業実績 (主なもの)

#### 収入

○地方交付税	1,881,516,000円
○国県支出金	1,685,578,000円
○地方贈与税	203,002,000円
○村債	116,501,000円
○村民税	51,048,610円
○固定資産税	409,013,50円
○軽自動車税	8,202,700円
○たばこ税	10,812,692円

#### 支出

【災害復旧費】	1,462,548,000円
【特別給付金】	20,581,063円
	(物価対策交付金)
【村文化祭開催事業費】	11,400,324円
【公民館・集会所等整備事業】	1,423,000円
【ふるさと回帰同窓会等ネットワーク構築事業】	378,000円
【商工業観光事業費】	22,366,569円

# 第3回定例議会(令和7年9月10日開会)

報告1件・令和7年補正予算他議案14件・同意2件・諮問1件

番号	議案	結果
報告第3号	令和6年度諸塚村財政健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率の報告について 実質公債費率5.3%	可決
議案第48号	令和7年度諸塚村一般会計補正予算 補正額:89,000千円 予算総額:4,586,000千円	可決

## ★主な補正の内容★

業務委託料(諸塚村公式キャラクター着ぐるみ制作委託).....	620千円
補助金(公民館・集会所等改修事業)※エアコン設置.....	3,530千円
ふるさと納税推進事業(委託料).....	440千円
老人福祉費(せせらぎの里指定管理委託料).....	30,000千円
水道事業費(簡易給水施設整備事業・補助金).....	1,786千円
農業振興費(作業受託組織機能強化事業).....	1,603千円
道路維持費(村単事業)道路維持補修.....	10,000千円
住宅管理費(修繕費).....	6,300千円

議案第49号	令和7年度諸塚村国民健康保険特別会計補正予算 補正額:39,400千円 予算総額:324,900千円	可決
--------	---	----

## ★主な補正の内容★

システム改修業務.....	3,476千円
---------------	---------

議案第50号	令和7年度諸塚村後期高齢者医療特別会計補正予算 補正額:1,800千円 予算総額:40,400千円	可決
--------	--	----

## ★主な補正の内容★

子供子育て支援制度システム改修.....	1,012千円
----------------------	---------

議案第51号	令和7年度諸塚村介護保険特別会計補正予算 補正額:29,690千円 予算総額:306,161千円	可決
--------	---	----

## ★主な補正の内容★

地域支援事業.....	1,270千円
-------------	---------

議案第52号	令和7年度諸塚村国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 補正額:15,000千円 予算総額:382,000千円"	可決
--------	---	----

## ★主な補正の内容★

医療機器修繕料.....	100千円
--------------	-------

議案第53号	令和7年度諸塚村簡易水道事業会計補正予算	可決
--------	----------------------	----

## ★主な補正の内容★

工事請負費(家代3,718千円・塚原385千円).....	4,103千円
-------------------------------	---------

議案第54号	令和7年度諸塚村特定環境保全公共下水道事業会計補正予算	可決
--------	-----------------------------	----

## ★主な補正の内容★

減価償却費.....	△7,379千円
------------	----------

議案第55号	令和7年度諸塚村電気事業会計補正予算	可決
--------	--------------------	----

## ★主な補正の内容★

工事請負費(川の口小水力).....	7,728千円
--------------------	---------

議案第56号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
--------	---------------------------------	----

議案第57号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
--------	------------------------------------	----

議案第58号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく、特定個人情報の利用に関する条例の一部を、改正する条例の制定について	可 決
議案第59号	諸塚村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第60号	諸塚村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第61号	工事請負契約の変更について 猿渡奥畑線 道路災害復旧工事 19,610,975円増 当初契約額 220,000,000円 変更後239,610,975円 契約の相手方 株式会社 太伯建設 代表取締役 菊池隆一	可 決
同意第3号	諸塚村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 藤岡成美委員の任期満了に伴う再任 (令和7年10月2日～令和11年10月1日)	可 決
同意第4号	諸塚村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 藤本 司委員の前任者の残任期間終了に伴う再任 (令和7年10月2日～令和11年10月1日)	可 決
諮問第1号	諸塚村人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 坂本和代氏 (令和8年1月1日～令和11年12月31日)	可 決

## 令和6年度決算が認定された 第3回定例議会(令和7年9月22日開会)

★決算審査特別委員会に付託された、令和6年決算8件が審議された。

番号	議 案	結果
議案第40号	令和6年度諸塚村一般会計歳入歳出決算認定について 歳入:5,283,252千円歳出:4,337,394千円	可 決
議案第41号	令和6年度諸塚村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:359,152千円 歳出:323,240千円	可 決
議案第42号	令和6年度諸塚村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:41,976千円 歳出:39,810千円	可 決
議案第43号	令和6年度諸塚村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:310,731千円歳出:281,039千円	可 決
議案第44号	令和6年度諸塚村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:55,249千円 歳出:52,591千円	可 決
議案第45号	令和6年度諸塚村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:195,099千円 歳出:191,349千円	可 決
議案第46号	令和6年度諸塚村国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について歳入:396,166千円 歳出:356,254千円	可 決
議案第47号	令和6年度諸塚村発電事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入:10,551千円 歳出:8,824千円	可 決

### ★補正予算1件が上程され認定された

番号	議 案	結果
議案第62号	令和7年度諸塚村一般会計補正予算(第4号)	可 決
★主な補正の内容★		補正額
【歳 入】繰入金:財政調整基金繰入金 .....		41,000千円
【歳 出】[建設]林道6路線7箇所測量設計管理委託料 .....		12,000千円
林道5路線6箇所測量設計管理委託料 .....		29,000千円
		補正後
		4,627,000千円

## そこが聞きたい！ 歳入歳出に対する質疑応答（総括質疑）

### 黒木健議員

**問** 過去の台風災害で村有林における作業道の災害箇所があり、何らかの検討がなされたものかお尋ねしたい。

### 産業戦略課長

**答** 崩壊の程度がかなり大きいということで、対策の方策が定まっていらない状況である。再度、現地を確認して、復旧方法等検討する。

財源を取って行ったものであり、操業開始した加工場の設備のほうにかなりの予算を投じた関係で、五〇〇円が精いっぱいのところであつた。来年度に向けて財源が確保できれば、増額についても検討していきたい。

### 建設環境課長

割り当てについて、実施する地区数が多いと、割り当ての順番がかなり先になるので、予算が許せば、公民館内で二カ所当実施できないか。

**問** 商工業振興について、新規起業者の支援や、プレミア商品券の発行等、今後とも支援を続けてもらいたい。

**答** 予算的には、十六公民館あるので、要望書の提出をしてもらい、割り当てた延長の中で二路線申請も可能である。事前に相談してもらえば、役場の内部で調整し、対応していきたい。

**問** 森林組合の安全対策や酷暑作業対策の、支援事業が必要と思われる。

**答** 予算的には、十六公民館あるので、要望書の提出をもらい、割り当てた延長の中で二路線申請も可能である。事前に相談してもらえば、役場の内部で調整し、対応していきたい。

### 尾形浩一議員

**問** 加工所の土場に出荷した木材に立米当たり五〇〇円の助成がなされているが、もう少し増額はできないものか。

### 村長

**答** 新規起業や、後継者の事業継続支援、商品券について、三割引きを、四割引きに引き上げた。商工業振興についても、引き続き取り組んでいく。

### 村長

**答** 森林環境譲与税の基金を活用した事業として、

### 山本多喜弥議員

**問** 生コン舗装の公民館

### 産業戦略課長

**答** 現在は、村単での農作業道、耕作道の舗装の事業というのは行っていない。

### 産業戦略課長

**答** 安全装備の支援事業としては、新規就労者に対してのみの事業となる。装備品に関しては、更新等の対策も必要になると思うので、対象部署と話し合う機会を持っていきたい。

### 中田政雄議員

**問** 災害対策での、避難所の食料の管理体制はどうなっているのか。

### 総務政策課長

**答** 避難所の食料配備については、国県防災計画に基づき、三日間分については自主で避難時に準備をお願いしたいという指針になっている。

本年、備蓄倉庫を整備し、避難時の物資について、どういったタイミングで避難所に配置するのか等を検証していこうと思っている。また、対策強化を図り、十分な検証を行う。

**問** ナラやクヌギ等の、大径木に対する利用や研究がなされているが、クヌギの再造林が減少しているように思う。今後のシイタケ

の再造林が減少しているように思う。今後のシイタケ

原木の確保に対しての考え方を伺う。

### 産業戦略課長

**答** シイタケの原木の確保については、年々苦慮している。シイタケ産業の維持には、原木林の造成が非常に大事であり、クヌギの造林を、強く推進していきたいと考えている。また、椎茸栽培に不向きな原木を有効活用することも検討しているところである。

### 甲斐弘昭議員

**問** 地域おこし協力隊制度は、地域活性化を図る上で有効であると期待をしている。もっと村民に活動内容を紹介したり、サポート体制の充実を図っていただきたい。

### 企画創生課長

**答** 地域おこし協力隊の活動内容については、十分ではないが村報等での広報を通じて、村民の皆様への

周知行っている。協力隊のサポートについては、椎葉村で協力隊のOBが組織している民間の会社をお願いをして、日頃の活動のほか地域での暮らしであるとか、そういう部分についてのサポートをしてもらっている。

### 甲斐弘昭議員

**問** 国も地域活性化の取組ということで推奨している事業であるので、一人でも多くの隊員が、本村に定住してもらえよう願う。

### 村長

**答** ワークショップを開催して、村民の皆さんの意見も頂戴したところである。内容や、活動の参考にした。また独自の取組としてUターン者枠を設定しており、協力隊と同様に、給料を三年間は支給するもの、積極的な募集に取り組んでいきたい。

### 岩本國和議員

**問** 畜産センターに優良な親牛がいるが、どのような方法で残すのか伺う。

### 産業戦略課長

**答** 畜産振興センターの母牛については、現在二十三頭おり、その中でも「福之姫」という血統を持つ牛が三頭いる。畜産振興センターでは、村内の方を対象とした入札会での販売を検討している。このことは、早めに生産者へ周知を行いたい。

**問** これは三頭に限ってということか。そのほかにはもういないということなのか。

### 村長

**答** 一番の優良牛や、把握をしている他にもそれに次ぐようなものもある。今後、協議して、三頭プラス何頭かになると思う。

**問** 今後の施設の使い方として、村内の繁殖農家の方も後の施設を利用したい人はいないようである。村外、県外までに枠を広げて公募をする考えはないか。

また、ふるさと納税の返礼品として、牛肉の取り扱いを考えていないか。

### 村長

**答** 跡地の活用については、敷地面積が約五千平米もある村有地であり、大変有用な用地と考えている。村内の方で畜産施設としての活用が出来れば良いが、村の施設であり地域活性化のための活用も検討していきたい。

ふるさと納税の牛肉の取り扱いについては、新たな方向性も出てきている。詳しくは、産業戦略課長が説明する。

### 産業戦略課長

**答** 今回、一五一品に商

請をしている。その中の肉製品につきましては六四品、和牛それから鶏肉を含めて六四品、そのうち牛肉が四四品となっている。和牛のトレーサビリティ等、厳しい課題もあるが、総務省からの承認が出れば、ホームページへ掲載の流れになる。



## 総括意見

日本経済においては、インバウンド観光からの消費活動等が活発になり、景気の向上が期待される状況にあるが、依然としてロシアのウクライナ侵攻や世界各地での覇権争いからの紛争は、終わるどころか停戦さえも危ぶまれる状況下にあるのは、将来的に大きな不安材料である。一方で貿易面においても食料品や原材料、ガソリンの値上げ等で国民の日常生活は厳しさを増している様に思われる。

その様な中において、本村の令和6年度の一般会計の決算は、歳入52億8,325万2千円、歳出43億3,739万4千円となり、前年度と比較すると、歳入で7億4,694万9千円、歳出で3億5,111万7千円、それぞれが増額となり、歳入で16.5%、歳出で8.8%の増となっている。その他の7つの特別会計を合わせた歳出総決算額は55億9,050万2千円で、その中でも性質別では、普通建設事業費と災害復旧費の投資的経費が最も多く、歳出全体で18億7,270万5千円、全体の43.2%となっている。

令和4年の台風14号、その後の台風災害における復旧、復興費が増額の要因となっている。また、歳入において特筆すべきは村税完納74年を達成できたことで、村長はじめ役場職員の方々の努力と、納税者の皆様の強い納税意識に、深く感謝申し上げる次第である。

同時に報告された令和6年度諸塚村財政健全化判断比率は5.3%で早期健全化基準の25%を下回っており、簡易水道事業、公共下水道事業、発電事業の公営企業における資金不足比率も経営健全化基準の20%を遙かに下回っており、将来においても問題は無いとの監査意見も提出され安心感はあるが、人口減少と高齢化社会の到来により厳しい財政運営も予想される。災害復旧、復興を進めながら安心と安全の確保はもとより、自主財源の少ない本村においては厳しい財政運営が続くと思われる。庁内の機構改革による意識改革と更なる執行努力にご期待申し上げ総括とする。

## 個別意見

1. 地域資源を活かしたふるさと納税の拡大推進
2. 台風災害の早期復旧と災害に強いむらづくり
3. 村内福祉施設の健全な運営



桃の先塩釜線



奥畑猿渡線

## 村政を問う!

## 一

## 般

## 質

## 問

《今回4名の議員が質問しました。》

## 一般質問とは

地方議会の「定例会」において、議員が村政全般について執行機関（村長など）に対して、事務の執行状況や将来に対する方針、政策などについて報告や説明を求めることをいいます。

諸塚せせらぎの里の今後の施設運用について



甲斐弘昭議員

**問** 過疎地域では若年層だけでなく、高齢者も減少してきている。

もろつかせせらぎの里は、介護職員も高齢化による退職や、転職していく職員もいて、職員の確保が難しい状況である、今後の取り組み状況を伺う。

また、今後日向・入郷地域で広域的な運営構想があるのか伺う。

藤崎村長



**答** もろつかせせらぎの里の今後の施設運用については、施設職員の高年齢化や転職等により、職員確保が困難となることが予想されるので、外国人特定技能就労者の雇用も計画しているところである。

日向・入郷地域での広域的な高齢者施設の事業運営構想については、流域の将来の高齢者施設の在り方について、今後の課題として捉えておきたいと考えている。

甲斐弘昭議員

**問** せせらぎの里は今後、

経年劣化による維持管理が必要になると思うが、現在のところ計画があるのか。

藤崎村長

**答** 平成五年度に最初の建築が行われて、平成二十八年度に増床工事が行われた。現時点では大規模な改修をするような予定はない。

甲斐弘昭議員

**問** 村内の公共施設を含め、長期総合計画の中で、長いスパンで考えていくべきと思う。

せせらぎの里も、将来的に民間事業者と委ねるといったような、現在の構想はないのか。

藤崎村長

**答** 日向・入郷地域における広域的な施設の集約化については、民間での考え方はあるようだが、将来に

向けての検討課題として捉えておきたい。

情報伝達について



尾形浩一議員

**問** スマートフォン等使えない年齢層では、諸塚村のホームページ等見ることができない。十一チャンネルでの行事や、村政の内容を伝えることはできないか。

藤崎村長

**答** 令和八年度からはケーブルテレビ、インターネットなどの管理運営の一部を民間事業者に任せる公設民営、令和九年度からは光回線に係る事業の全てを民



問 問事業者に譲渡する民設民営での運営に移行する。民間事業者の技術やアイデアを活用しながら、行政情報に加え、民間事業者が作成する自主番組の放映などを行う予定である。

問 尾形浩一議員  
村政座談会でも、役場からの情報が伝わりにくいとの見えがあった。十一チャンネルを活用して、情報提供者が、画面に出演して、村民に語りかける様に行う予定である。

問 藤崎村長  
できるだけ村内の皆さんに情報が伝わっていくように、また別の方法も含めて考えていきたい。

## もろっこハウス内のジビエ加工の現状と、今後の活用について



### 中田政雄議員

問 もろっこハウス内のジビエ加工施設の活用状況と、実績について、また、今後の活用と取組みについて伺う。

### 藤崎村長

答 もろっこハウス内の加工施設は、村産ジビエ肉として学校給食にも提供され、好評を得ている。食肉販売のみならず、ジビエ加工品開発など新たな消費拡大の取組を検討する。

### 中田政雄議員

問 畜産センターの事業廃止後は、今年度中の残務処理が行われていくと思うが、施設や機材の用途につ

いて伺う。

### 藤崎村長

答 畜産センターは令和四年度から赤字決算が続いたことから、本年度をもって、畜産事業からの撤退を余儀なくされた。購入した軽トラックや畜産運搬車など一部を除き、村の管理施設となり、今後は施設の有効活用を図るため、畜産施設としての利用希望者への貸出しや本村の振興発展に寄与する活用の仕方も含めて、検討を進めていく。

### 中田政雄議員

問 施設利用について希望者の公募等は考えていないのか。

### 藤崎村長

答 敷地面積が約5千平米もある村有地となっているので、民間での畜産施設としての活用を含め、本村の活性化につながる新たな

活用の仕方も合わせて、検討していければというふう

### 中田政雄議員

問 令和六年度のふるさと納税額が、三八九万円と県内で最少額であったが、自主財源に乏しい本村にとっては努力に値するものと考えているが、村長の考えを伺う。

### 藤崎村長

答 ふるさと納税は地方自治体への寄附を通じて、寄附金控除という税制上の優遇措置を受けるという仕組みで、自治体は寄附額に応じて返礼品を送ることができ、ふるさと納税の課題解決のため、返礼品の数を百五十品に倍増して、納税の拡充を図っていく。

### 中田政雄議員

問 生活支援ハウスは長らく閉鎖された状態だが、再開に向けての準備、協議は行われていないのか伺う。

### 藤崎村長

答 せせらぎの里を含め、

現状においては職員確保が、大きな課題となっている。まずは、せせらぎの里の職員確保に傾注して対応していくことが求められると考えている。

将来に向けてどのような活用方法が本村の高齢者福祉等に有効であるのか、検討していきたい。

### 中田政雄議員

問 諸塚村は合併せずに単独で行政を進めていくと決断したわけだが、この難局を、村民の協力で乗り切る覚悟が必要であると考えている。これを受けて、村長の意気込み等があれば、伺いたい。

### 藤崎村長

答 今後、村民の皆さんの御理解もいただきながら、新生もろっこに向けてしっかりと取り組んでいきたいと思う。議会や、村民の皆さんとともに、同じ方向を向いて村政を進めてまいりたいというふうに考える。

## 子育て支援について



## 甲斐秀樹議員

**問** 諸塚村の子育て支援対策は、近隣町村と比較しても引けを取らない政策であると思うが、その成果と効果について伺う。

## 藤崎村長

**答** 出産及び子育ての経済的な負担軽減及び安心で安全な育児を推進するため、国や県が実施する施策に加え、他自治体に先駆けて様々な子育て支援対策を行っている。

独自施策の事業内容と実績については、出産された全家庭への子供誕生祝い金事業、十八歳までの全ての子供を対象とした医療費無償化事業、不妊治療のための助成事業、妊産婦健診通

院助成事業、給食費も含めた保育所の無償化事業、新たに出産費補助事業、不妊治療交通費助成事業、男性の育児休暇取得奨励補助事業を新設し、来年度から、幼保連携型の認定こども園を開設することとしている。

## 甲斐秀樹議員

**問** 現実の子育て世代の親から、一番子育てがしにくい時代になってきていると伺った。これはひとつには、男女均等雇用法が施行され、女性の社会進出が進んだけれど、育児休業制度や短時間勤務制度が、村内事業所を含めて浸透がなされていないのではと思う。

そのような各施策の中で、学校給食無償化について昨今の物価高騰の影響で、食材のオーバーするような場合の対策等は考えているのか伺う。

## 藤崎村長

**答** 物価高騰等が生じた場合の対応は、どうしても不足の場合は追加せざるを得ない状況もあると考える。

得ない状況もあると考える。

## 教育課長

**答** 給食費の価格の高騰につきましては、学校給食の栄養士の先生に算定していただき、地産地消の食材を利用したり、村内の業者さんを利用したりしている。

## 甲斐秀樹議員

**問** 平成十七年九月の、台風十四号の被害は凄まじく、その後、約四十三億円の事業費をかけて水防事業を行っております。この水防事業が、現在、完成されている対策で十分であるのか、また、ほかに必要とされる対策がないものか伺う。

## 藤崎村長

**答** 平成十七年の台風第十四号により、諸塚中心部が壊滅的な被害を受け、土地利用一体型水防事業による整備が行われた。この制度により、治水安全度の向上が図られた。

しかし、この制度は事業所のかさ上げ等は対象とな

らないことから、宮崎県により中心部下流の堆積土砂の一部土砂除去が行われ、九州電力では、通砂を円滑に行うための土砂移動等が行われている。

令和六年三月には、耳川水系河川整備計画の変更を行っており、河川整備計画の施工区間として、日向市東郷町の八重原橋から、柳原川合流点までの追加を行っている。今後とも宮崎県及び九州電力と連携しながら、治水安全対策に取り組んで行く。

## 甲斐秀樹議員

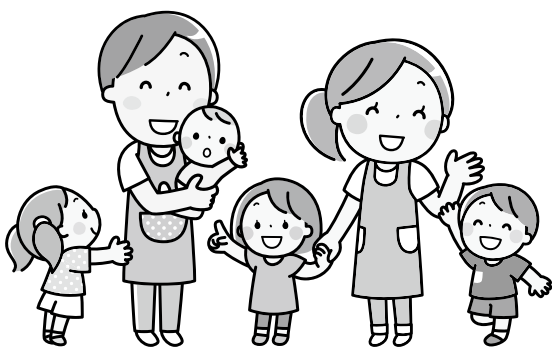
**問** 当時の対策では、事業所等対象にならなかったようだが、諸塚村のシンボリックなエリアである諸塚中心部の活気あるまちづくりを考えると、事業所の存在は「林業立村もろつか」の将来にも影響することと考える。

さらなる対策を講じるよう要望を重ねる必要があると思うが。

## 藤崎村長

**答** 宮崎県としても、事業所も補助事業の対象となるように、国に要望はしているとのことだが、今のところ、なかなか厳しい状況である。

宮崎県を事務局として、毎年度、その評価改善委員会が開催されておりますので、今後の対策を進めて行きたい。



## 所管事務調査報告

〔令和7年7月8日実施〕

## 総務常任委員会

〔場所：椎葉村・平寿園  
諸塚村・せせらぎの里〕

椎葉村の特別養護老人ホーム平寿園は、定員60床で利用者数は現在48・6人である。デイルームも併設しているが、通所サービスは、地理的に遠隔ということもあり、開園当初から赤字運営である。職員数は、令和7年6月現在、パートを含め合計58名（男7名、女51名）で、その内60歳以上は22名（38%）を占め、高齢を理由に辞めていく職員も出てきており、職員の確保が厳しくなってきている。このような中、外国人労働者として、ミャンマーから20歳代の女性3名を雇用している。今後は、定員を50床にして、経営の安定化を検討しているとのことであった。

もろつかせせらぎの里は、平成4年度に完成し、今後は長期33床、短期2床で運営していく方針である。デイサービスは、現在55名が利用者登録され、一日当たり利用者平均は14名である。職員数は、4月現在48名で、その内60歳以上は16名（34%）を占め、3月に介護職2名、看護職1名が退職し、本年度中も退職予定者がいる。平寿園と同様、職員の確保が厳しい状況で、新規採用に向け、各高校への訪問と特定技能による外国人の採用を検討している。今回、両施設を訪問して、課題は共通しているようだ。過疎地においては、若年層だけでなく、高齢者人口も減ってきている反面、医療の進歩、介護予防の充実で、元気な高齢者が増加し、要介護3以上の施設利用者数は減ってきている。

今後は、介護保険事業計画に基づき、地域の実態に見合った効率の良いサービスを視野に入れ、安定した事業経営のもと、村民の介護福祉の向上に資することを期待する。



椎葉村平寿園



自然と共に生きる。



諸塚村せせらぎの里



# 所管事務調査報告「令和7年7月3日実施」

## 産業・建設常任委員会

（ボクソク研修会  
場所：中央公民館）

（ボクソク）とは「小さな木」という意味と漢方薬の生薬としての意味がある。今回は漢方薬としての勉強会に約20名の参加者があり、中には椎茸生産者も数名ほど参加されていた。クヌギ樹皮を洗浄して剥ぎ取り、乾燥し、原料として出荷できるようなのであるが、その乾燥までの工程で、樹皮の洗浄においても強すぎる洗浄機ではよくないよう、樹皮の乾燥製品を見せてもらったが、その工程は簡単なようで難しいようである。

今後、ツムラと出荷契約を締結するまでには法人化された会社を通じて、諸塚のボクソク生産者部会を組織し、ツムラによる各工程での検査や監査等も行い、求められる基準がクリアできれば出荷可能となる。

新価値創造室の説明では、材料となるクヌギは大径木となった椎茸原木であるが、ボクソク用は椎茸栽培に不向きな大径木を利用することであった。

原木の移動や回転等、洗浄時の負担を軽減する対策、作業場所の確保や施設の整備等検討する必要があるが、クヌギ大径材の有効利用策として、今後この活動を注目していきたい。



ボクソク研修会 令和7年7月3日

### 所管事務調査とは

地方議会の委員会が、自らが担当する分野の事務について、村政の課題解決や、より良い政策提言のために自主的に行う調査のことです。

常任委員会が主体的にテーマを設定して行うもので、調査結果は政策提言として、村長に提出されることもあります。

# 一 議会活動報告 一

月	日	行 事 名	参 加 者	場 所
7	1	諸塚村木材加工場再稼働式典	加工場	全議員
	7	五月会	役 場	全議員
	8	総務常任委員会事務調査	椎葉村、諸塚村	総務常任委員
	11	日向東白杵広域連合議会	日向市	議長・総務委員長
	15	中央道総決起大会	延岡市	全議員
	17	入郷期成会要望活動(県北)	延岡市・日向市	議 長
	18	高速道総会・みすず会	宮崎市	議 長
	20	参議院議員選挙		
	22	例月出納検査	役場	議選監査員
	23	議運正副委員長研修会	宮崎市	議運正副委員長
	28	日向東白杵郡議長会要望活動	延岡市・日向市	議 長
8	4	決算監査(事業所監査)	役場	議選監査員
	5	決算監査(財政健全化監査) ～18日・調書監査他	役場	議選監査員
	8	県・町村事務組合第2回定例会	宮崎市	議長
		県議長会正副議長研修会	宮崎市	議長・副議長
	20	例月出納検査	役場	議選監査員
		九州中央道建設促進地方大会	高千穂町	全議員
	25	九州中央道(蘇陽～高千穂間)建設促進期成会総会	五ヶ瀬町	議長
	26	林活議連総会	宮崎市	議長
	27	入郷地域開発期成同盟会要望活動	宮崎市	議長
		県監査員協議会臨時総会・研修会	新富町	議選監査員
		予算要求説明会	役場	全議員
	29	議運・全協	役場	全議員
		県議長会役員・監事会	宮崎市	議長
9	1	決算審査講評	役場	議選監査委員
	10	第3回定例会	役場	全議員
	11	定例会(総括質疑)・決算審査特別委員会(総務、企画)	役場	全議員
	12	決算審査特別委員会(住民、産業、建設)	役場	全議員
	16	決算審査特別委員会(教委、診療、税務、議会)	役場	全議員
	18	決算審査特別委員会(まとめ)	役場	全議員
	22	第3回定例議会(最終日)	役場	全議員
	24	例月出納検査	役場	議選監査委員
	25	東白杵郡議員研修会	日向市	全議員
	26	国道503号期成同盟会総会・決起大会	中公	全議員

随想

中田 政雄

私ならずともほとんどの人が今年の夏は異常に暑い日が多かったと感じたのではないのでしょうか。

八月の初旬の五日だったか、関東辺りでは、気温が四十度を超える所がかなりありました。三十五度を超える猛暑日は、連日で最長の記録だったのではないかと聞き覚えています。又、四十度以上の酷暑日も度々報道されました。現在まで直接的な台風の災害発生は無かったので幸いでしたが、雨の降り方が異常でした。一時間雨量が五十ミリでもすごい豪雨なのに、百ミリ、百三十ミリ更には百四十ミリ等、私達には経験した事も無い、想像もつかない降水量で、短時間で起こった都会の浸水被害や、大きな竜巻による家屋の倒壊状況等々が、ニュースで出たのも驚きでした。

正に温暖化による異常気象を身を持って感じる夏であったと思います。来年の夏が思いやられますし、災害復旧工事の途上の本村、今後どうなる事かと心配ですが、被害の無いことを願うばかりです。

皆様、何よりも健康が一番です。お体ご自愛下さい。

## 九州中央自動車道 建設促進地方大会 高千穂町武道館

九州中央自動車道は、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結ぶ高速交通ネットワークを形成する幹線道路であり、平常時・災害時を問わず「命をつなぐ道」としての役割は多大にあります。しかしながら計画延長の95キロに対して、23キロは未事業区間となっています。長年の悲願である九州中央自動車道の早期完成のために、地域住民一体となった建設促進運動を進めていくことを決議しました。



## 国道503号整備促進総決起大会 諸塚村中央公民館

熊本県と宮崎県の九州山地を結ぶ、九州中央自動車道の五ヶ瀬東インター(仮称)に一次アクセスする国道503号線は、令和4年3月に「飯干バイパス」の事業化が決定され、「命の道」「産業の道」「交流の道」として早急な整備が望まれる。重要港湾細島港と、熊本・福岡とを結ぶ最短ルートとして、産業振興の要となる道路ネットワークの一部として、諸塚村・五ヶ瀬町の両町村の住民の総意を集結して大会が開催された。

### 決議文

- 一、地域の安全・安心また、地方創生を実現し経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発現させるため、令和八年度道路関係予算については所要額を満額確保すること。
- 一、飯干バイパスの早期完成を目指し、道路ネットワーク機能の強化を図ること。
- 一、国道五〇三号の整備促進
  - ① 北扮工区の早期完成を図ること。
  - ② 飯干地区から、国道327号線までの新規工区設定及び、早期改良完成を図ること。



### 編集後記

実りの秋を迎え、季節は秋の気配を感じるようになって来ました。各地区では秋の祭や運動会、村民文化祭と沢山の催し物が行われます。みなさん力を合わせて、取り組んでいきましょう。

私たち広報委員会も、より多くの村民の皆様、村政や議会活動への関心を持ってもらえるよう、分かりやすく読みやすい「議会だより」の編集に委員会一同奮闘しているところです。皆さんのご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

(編集委員)

甲斐 秀樹 甲斐 弘昭  
岩本 國和 黒木 健

(甲斐秀樹)

議会を傍聴して  
みませんか？

次回の定例会は  
12月開催の予定です。

お気軽にお越しください。  
お問い合わせは、議会事務局

☎ 六五一一三〇